

地域を歩いて

研究主任

向暑の折、子供たちは日々の学習や生活に励み、1学期のまとめに向かって取り組んでいます。先日の立野フェスティバルでは、学級や学校全体が一つになり、旧校舎への感謝の気持ちを胸に、多くの思い出をつくることができました。「よりよいフェスティバルにしよう」という共通の目標に向かい、仲間と話し合い、協力し、試行錯誤を重ねる経験は、子供たちにとって大きな学びとなりました。

本年度の研究テーマは「地域の一員として、誇りをもって学ぶ児童の育成ーカリキュラム・マネジメントの充実を通してー」と設定し、生活科・総合的な学習の時間の授業研究や教材開発を行ってまいります。子供たちは学校の中だけで育つのではなく、保護者や地域の皆様に支えられ、日々の生活や体験を通して成長していきます。その中で生まれる小さな「気付き」は、学ぶ意欲へとつながる大切な契機となります。

先日、改めて地域を歩いてみました。千川上水沿いの四季の移ろい、立野公園のにぎわい、図書館や地区区民館で行われる多様な活動場所など、何気なく歩くだけでも、地域の豊かさに気付かされます。途中で出会った立野小の子供たちに「立野町といえば」と尋ねると、「自然」や「公園」という言葉が返ってきました。大通りに囲まれたこの地域が、なぜこれほど自然に恵まれているのか。立野町はどのような歴史を歩み、これからどのように変わろうとしているのか。地域を歩くことで、改めて様々な問いが浮かび上がってきました。



【青梅街道】



【千川上水沿い】



【関町図書館】

立野小学校は8月半ばより新校舎の工事も始まります。60年以上子供たちを見守ってきた旧校舎は、役目を終えようとしています。人も校舎も地域も、時とともに姿を変えます。しかし、その場所で育まれてきた「つながり」や「思い」は、形を変えても受け継がれていくものです。「立野小学校」という建物が変わっても、立野小学校に携わった人々の思いや願いはこれからも変わらずに残り続けます。



【建設中の仮校舎】



【玄関（しろくまホール）】

本研究は2年間をかけて進めてまいります。この研究が一区切りを迎える頃、子供たちが「立野町で育ったこと」を誇りに思い、地域と共に歩みたくなる気付きや願いが生まれ、人との絆を深めたくなるような学びを目指していきます。今後ご家庭・地域の皆様のお力をお借りする場面があるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

A decorative horizontal bar consisting of a series of small circles in blue, green, yellow, and red colors arranged in a repeating pattern.

A large bonfire is burning brightly in the center of a grassy field at dusk. Several people are standing around the fire, and a small white building is visible in the background. The sky is dark with some clouds.

A group of students are participating in a STEM challenge. They are building a structure to hold a stack of cups. One student is holding a long wooden stick, and another is holding a stack of white cups. The structure is built on a table.

圖工專科

学/M…低学年が学級活動の時間/高学年がモジュール学習